

SENAインカム選び方ガイド

アナタにピッタリのSENAインカムは店員さんが知っている!!

今やインターネットで何でも調べられて、なんでも買える時代。インカムもそのひとつである。しかし、実際にショップに足を運び、店員に相談しながらお気に入りの一台を見つける方が手にしたインターホムの満足感が高く、そして長く使うことにつながる可能性が高いといえる

文/八百山ゆーすけ
問:セナBluetoothージャパン <https://senablueetooth.jp>



初めてインカムを買おうとしているAさんが、50Sにしようとしている理由

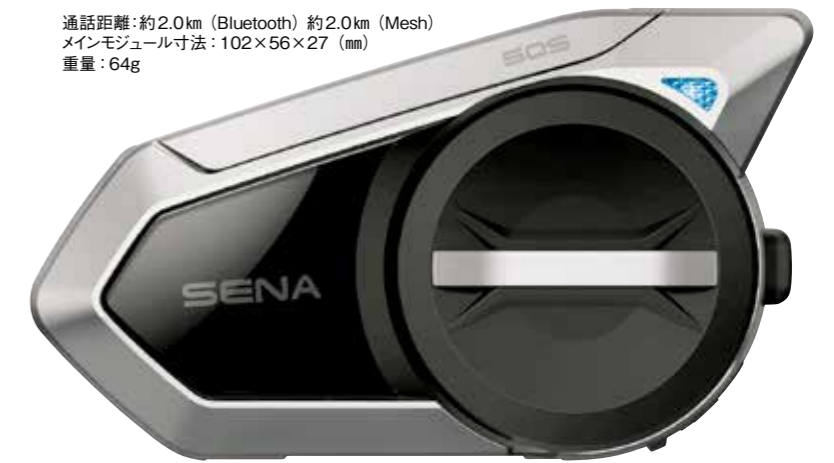
- SENAのフラッグシップだから
- Bluetooth、Meshの両方の通話ができるから

➡ 確かに、50Sなら間違いはない……ハズ!

50S

価格: 4万8840円

通話距離: 約2.0km (Bluetooth) 約2.0km (Mesh)
メインモジュール寸法: 102×56×27 (mm)
重量: 64g



Pattern 2 50S を選択!

安心のフラッグシップ!
GoProとの相性もバッチリ!

世界的な高級オーディオブランド「ハーマン&カードン」によるサウンドチューニングのマイク&スピーカーを標準装備しているクワンタム・シリーズ。メッシュ方式によるグループ通話は、接続や再接続の操作が極めてシンプルで、接続が切れにくく、通話品質も高いのが最大のメリットだ。ボイス操作機能も充実しており、最新のファームウェアでは新たにアクションカムのGoProの操作が可能に。HERO8~12をBluetooth接続すれば、声で録画の開始・停止といった操作ができる。また、専用のマウントを介してヘルメットに装着するため、インターホム本体の脱着がスマートだ。50Sは50シリーズの中でも、セナ伝統のジョグダイヤルを採用し、グローブをはめた手でもダイヤルを回す、押す、と、確かかつ直感的な操作ができる。



Pattern 3 SF2 を選択!

使用用途を見直したら
エントリーモデルでも
大満足!

ふだんはソロ、ときにはパートナーとタンデムツーリング、というような人には、薄くてコンパクトなSF2が最適だ。Bluetooth方式による1対1のインターホム通話、スマホの音楽やナビ音声再生など、基本的なインターホムの機能を網羅している。通信距離は800mあるから、バイク2台でのツーリングにも使える。機能を絞ることによって価格が抑えられており、なんとSF2を2台買っても50Sの1台分よりリーズナブルだ。このように、使用される用途がはっきりと分かっているならば、必ずしもフラッグシップがいいという選択にはならない。SF2はHDスピーカーが搭載されているため、リーズナブルなモデルと言っても音質は十分。音楽を聴いてツーリングを楽しみたい人のニーズも満たしてくれる機能を持つ。

SF2

価格: 2万680円

サイズ (メインモジュール):
73.3×38.7×16.6mm
通話距離: Bluetoothインターホム
800m



蓄積してきたノウハウで最適な一台を見つけられる

インターネットを使ったバイクライフはライダーによって千差万別。セナはそんなさまざまな使い方に合わせて、幅広いモデルラインナップを用意。その数15品目、そして価格も1万円台から7万円と、幅広い選択肢を提供している。

その上で、もし今、インターホム選びに迷っているようなら、セナ・プロショップに足を運んでみてはどうかだろうか。そしてここにいる専門スタッフに、自分のバイクライフを説明することから始めてみよう。スタッフはこれまで蓄積してきたインターホムのノウハウをもとに、適切なアドバイスをしてくれることだろう。

確かに今やインターネットを検索すれば、無尽蔵の情報があふれているかもしれない。しかし、リアル店舗で接客にあたるスタッフは、お客さんごとにそんな情報を整理して、ユーザーの使い方にピッタリの一台を見つけてくれる。また、セナ・プロショップではハーマン&カードンの手によるサウンドチューニングが、実際に体験できるキャンペーンも開催中。店員の話聞き、実際にモノに触れて、体験できるセナ・プロショップに、まずは足を運んでみよう。

Pattern 1 SPIDER ST1 を選択!

仲間との通話は
メッシュ通話のみ。メッシュ通話を
リーズナブルに手に入れる

つなぐとしてもスマホで音楽やナビ、基本的にソロで走るという人。通話するとしても、ときどき仲間とツーリングに出かける時に、メンバーのインターホムがセナのメッシュ通話方式のモデルであるならば、ミドルレンジモデルSPIDER ST1がオススメ。Bluetooth方式を排してメッシュ方式専用とすることで、最新の通話方法ながら、リーズナブルな価格を実現している。とはいえプレミアムHDスピーカーを採用するなど、通話のクオリティに抜かりはない。クランプユニットはシンプルなクリップ方式を採用しているため、ヘルメットを複数所有している人は便利だ。Bluetoothインカムとつなぎたい場合は、50SなどのBluetooth通話が可能機種の人を介せば通話可能なので、もしもの時も対処方法はある。

SPIDER ST1

価格: 3万2780円

サイズ (メインモジュール):
86×52×27.5mm
通話距離: Meshインターホム2.0km

